

第1回新市の名称に関する小委員会会議録

日時：平成16年1月15日（木）

午後4時00分から

会場：上越市厚生南会館大ホール

区分	市町村名	役職名	氏名
規約第8条 第1項第2号の委員 (構成市町村の議会の議長及び構成市町村の議会が当該構成市町村の議会の議員のうちから選出する者)	上越市	上越市議会総務常任委員長	早津輝雄
	安塚町	安塚町議会副議長	松野恵
	浦川原村	浦川原村議会環境建設常任委員長	石田敏一
	大島村	大島村議会議員	丸田伸一
	牧村	牧村議会議員	宮本富男
	柿崎町	柿崎町議会議長	新澤明一
	大潟町	大潟町議会合併問題特別委員会委員長	内山米六
	頸城村	頸城村議会議員	布施兵衛
	吉川町	吉川町議会副議長	吉村一博
	中郷村	中郷村議会副議長	豊岡真一
	板倉町	板倉町議会副議長	島田武
	清里村	清里村議会議員	保坂隆男
	三和村	三和村議会副議長	松縄教一
名立町	名立町議会議長	塚田正	
規約第8条 第1項第3号の委員 (学識経験者その他の者で構成市町村の長が協議により必要と認めるもの)	上越市	上越市町内会長連絡協議会会長	田中昭平
	安塚町	安塚町商工会長	横尾新一
	浦川原村	浦川原村まちづくり研究委員会委員	内山美恵子
	大島村	大島村合併協議会委員	山岸幸子
	牧村	牧村住民会議準備会委員	江口理恵子
	柿崎町	柿崎町農業委員	神岡八江子
	大潟町	大潟町教育委員	大浜啓子
	頸城村	頸城村自治会長協議会会長	大場崇夫
	吉川町	吉川町男女共同参画計画策定委員会副委員長	岩井栄子
	中郷村	中郷村合併検討委員会委員	杉本優子
	板倉町	板倉町合併推進委員会委員	増村恵子
	清里村	清里村合併推進委員会副会長	細谷愛子
	三和村	三和村合併推進協議会会長	近藤一郎
名立町	名立町市町村合併審議会委員	久保埜朝子	
共通	えちご上越農業協同組合代表理事副組合長	笹川一成	

議 題

- 1 委員長、副委員長の選出
- 2 審議内容の説明
 - (1) 新市の名称について
- 3 審議
 - (1) 審議スケジュールについて
 - (2) 「上越」の名称について

4 その他

午後4時00分 開会

○小菅宏造事務局総括 大変ご苦労さまでございます。今ほどの協議会でのご審議をいただいた後に引き続き小委員会ということで急遽お集まりいただきました。申しわけございません、おくれまして。私事務局で委員長さんが決まるまでの間ということで、今司会をさせていただきます事務局の小菅と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の小委員会についてでございますが、先ほど会長のご案内の説明の中でもございましたが、事前にご案内をさせていただいた議会の議員の定数及び任期の取扱いに関する小委員会、それから自治基本条例に関する小委員会につきましては、前回の協議会で小委員会に付託することが決定されて、あらかじめ委員の皆さんにご案内をさせていただいた上で今回の開催となっております。それと違いまして、今回の皆さんお集まりいただきました新市の名称に関する小委員会につきましては、本日初めて協議会の場に論点整理の形で委員会に付託するというところで提起されまして、そのことがお認めいただいて、本日から、なおきょう初めて会長の方から、きょう急遽せっかくお集まりのことということで、準備的な意味において本日は開催させていただきたいということでご提起申し上げたところでございます。このように皆様が見ていただいたとおり全員のご出席をいただいたということで大変感謝申し上げます。

それでは、本日の中身ということでございますが、先ほどご案内の中でも準備的な意味合いということで申しあげました関係もございます。あらかじめわかっておればいろんなことを検討されてくる、あるいは委員長、副委員長についてのお考えについてもそれぞれお持ちの検討の時間があつたわけでございますが、その時間のない中での議論でございますので、事務局といたしましては、まずほかの委員会ですと委員長、副委員長まず選出から始めさせていただいて、その進行のもとに中身が進んでいくと、本格的な審議が開始されるという段取りを踏んでおります。そういう意味で、その辺の準備的な意味合いの中ということでございますので、皆さんに今ここでお諮りすることはまず委員長、副委員長をきょう選んでよいかということから確認をさせていただいて、全員一致の中でそのことが確認された中で委員長、副委員長を選出させていただいて、お決まりになったら司会の方は委員長さんをお願いするというところで本日の審議を進めてまいりたいと考えております。

長々と事前の説明を申し上げてまことに申しわけございませんでしたが、そういう段取りでございますので、まず委員長、副委員長の選出、この委員会が正式な協議というものとなるための第1段階でございますが、そうした形で委員長、副委員長をこの場で選出させていただいてよろしゅうございますでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 ありがとうございます。

1 委員長、副委員長の選出

○小菅宏造事務局総括 それでは、早速に委員長、副委員長の選出ということに移らせていただきたいと思います。

本協議会の小委員会規程の中で、これにつきましては互選という形をとってございます。これについて当然おなりになりたい方を含めましてご意見をちょうだいする形かと思いますが、どなたか委員長、副委員長の選出あるいは立候補等についてご意見おありの方いらっしゃいますでしょうか。

それでは、順番にそちらから。申しわけありません、議事録の関係もでございますので、こうした形でご指名させていただいたら、マイクを必ず通じてご発言お願いしたいと思います。

○宮本富男委員 牧村の宮本でございます。各自治体が委員長になりますと、自由な発言もできないと思いますので、副組合長の笹川さんから委員長ということでお願いしたらよろしいんじゃないかと思えますけれども、どうでしょうか。

以上です。

○小菅宏造事務局総括 今立場的な意味で中立という意味でございましょうか、そうした形で今えちご上越農協の組合代表理事として、いわゆる学識経験者という形で3号委員おなりになっていただいている笹川さんから委員長としてというふうなご意見ございました。

ほかにございますでしょうか。そちらで今ご発言……。

○大場崇夫委員 頸城村の大場でございます。互選ということですが、なかなか集まって選ぶというのは大変でございますので、大変恐縮ですが、腹案等ございましたら、ざっくばらんに発表していただきたいと思うんですが。

○小菅宏造事務局総括 事務局考えあればということでございますか。

ほかにご意見ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 それでは、今ご意見もちょうだいしたところでございますが、まず1番目に宮本様からご発言いただきました立場、学識経験者として、より公正といいますか、中立的な立場でいらっしゃるという趣旨でえちご上越農業協同組合代表理事副組合長でいらっしゃる笹川さんに委員長というふうなご提案ございました。事務局としては非常にごもつともな意見と考えておりますし、このことについて皆さんにお諮りするのがまず最初ではないかというふうに思います。笹川さんということでお諮りしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 ありがとうございます。それでは、笹川さんに委員長をご就任をお願いしたいと存じます。

あわせてでございますが、本来ここですぐパトタッチでございますが、副委員長さんの人選を今あわせて行うということでご提起申し上げましたが、それについては特に今意見ございませんでしたが、事務局腹案あればということを受けまして、私どもでご提案させていただいてもよろしゅうございましょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 それでは、そういう意味では3号委員、やはり住民代表委員ということで私ども考えてございまして、その中で上越市の田中昭平さんをお願いをしたいと考えておりますが、そういう形でご提起させていただきたいと思いますが、いかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 ありがとうございます。それでは、委員長にはえちご上越農業協同組合代表理事、笹川さん、副委員長には上越市町内会長連絡協議会会長でいらっしゃる田中昭平さんにおつきいただきたいと思います。よろしくお願いいいたします。

それでは、恐縮でございますが、笹川さん、おひとつ左へ席移っていただいて、委員長席ということで今設営させていただきますし、田中さん、会長さん、そちらです。済みません、じゃ次回からきちんと場所の設営をさせていただくということで、今現状のままで、お近くでいらっしゃいますので、委員長、副委員長ということで、今の席のままということでご理解いただきたいと思います。移られますか、ありがとうございます。済みません。ご面倒おかけいたします。

それでは、司会の方を委員長さんにパトタッチしたいと思いますが、それぞれ一言ずつごあいさつをいただきながら会の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいいたします。

○笹川一成委員長 JAえちご上越の笹川といいます。出身というか、住んでいるところは清里村でございます。先日牧村へ行って宮本さんとお話ししたこともございますので、いきなり笹川という話が出たんだろうと思ひまして申しわけございません。そういうことで、今、新市の名称に関する小委員会の委員長をやれというご指名でございます。余り経験もないんですが、精いっぱいやらさせていただきますと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。司会進行役ということでございます。

すので、そのようなつもりで皆さんの意見をまとめてまいりたいと思っております。特にまた副委員長の田中昭平さんには私の恩師でいらっしゃると思いますので、先生の上に上がったような形でまことにやりづらいんですが、途中でしかられることもあると思うんですが、よろしくまたお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

○田中昭平副委員長 今ほど副委員長にお決めいただきまして非常に恐縮しております。精いっぱい委員長を補佐しながら、皆さんの知恵を絞った総意によって新しい市の名称が決まればと、こんなふうに思いますが、よろしくまたご協力、ご指導方お願いいたします。あいさつを終わります。

○小菅宏造事務局総括 ありがとうございます。

それでは、バトンタッチということでございますが、小委員会規程にのっとりまして、議長は委員長が行うこととなっておりますので、委員会の進行を委員長からお願いしたいと思います。なお、形でございますが、小委員会の成立につきましては委員の半数以上の出席をもって成立するということになっておりまして、それをごらんのとおり全員出席で満たしておりますので、お答えさせていただきます。

それでは、委員長、よろしくお願いいたします。

○笹川一成委員長 それでは、かけたまま失礼させていただきます。

まず、上越地域合併協議会小委員会規程第 10 条の規定によりまして、上越地域合併協議会の会議の運営に関する規程第 3 条第 2 項の規定により、今回の会議録署名委員として上越市の早津委員並びに安塚町の松野委員をそれぞれ指名させていただきますが、よろしゅうございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○笹川一成委員長 お願いいたします。

2 審議内容の説明 (1) 新市の名称について

○笹川一成委員長 それでは、新市の名称につきましては、前の合併準備会のときにも他の合併協議と並行して審議していったということが言われております。そんなことから今回審議に入らせていただくわけでございますけれども、初めにこの審議内容の説明、いわゆる新市の名称について事務局より説明願います。お願いします。

○小菅宏造事務局総括 それでは、説明させていただきます。

まず、お手元の資料でございますが、説明に入ります前にピンク色のファイルとじて差し上げてございます。これは、委員会ごとに色を異ならせておりまして、この委員会の資料ということで皆さんがいろんな資料と入れ違いがないようにということで事務局で用意させていただいたものでございます。今後いろんな資料が皆様のお求めに従って追加されるなり、私どもであるいは準備するなりの形の中で資料が追加された場合に、この中にとじ込んでいただくということで整理をさせていただければということで準備をさせていただきました。もちろん皆様のメモ等ご自分の資料も差し込んでいただいて当然結構でございますので、よろしくご活用のほどお願いしたいと思います。

それで、おめくりいただきまして、中に入っている資料でございます。まず、本日の次第として一番最初に第 1 回新市の名称に関する小委員会次第ということで準備方が書いてございます。資料の確認を先にさせていただきますと、ページをめくっていただいて小委員会名簿、これは以前小委員会のメンバーを決めさせていただいたときに既にお配りした資料でございますが、委員会を重複なく速やかに進行させるために A グループということで三つをまず一組とさせていただいて、これがきょう同時進行してございます三つの委員会でございます。この新市の名称の委員会は 1 ページ目の右上の方に市町村コード順と申しましょうか、合併協議書の市町村順に並んでございます。めくりまして、裏側には後日開催となります B グループということで、そちらの方の委員さんについても二つが具体的に名前、設置が決められた委員会、もしありましたら残りということで下の方が次の名簿でございます。同じように B グループとして扱われてございます。次に、その次のページに小委員会審議スケジュールということで、後でご説明させていただくものがついてございます。さらに、めくりまし

てペーパー1枚物でございますが、資料2ということで「上越」の名称についてということで資料が用意されて、以上本日の用意させていただいた資料についてはこれですべてでございます。

それでは、早速ではございますが、これらの資料を含めまして審議内容の説明をさせていただきたいと思っております。先ほど、今ほど笹川委員長の方からもご説明ありましたが、この新市の名称についてという協議項目につきましては、他の合併協議と並行して協議する事項ということで位置づけられて協議することとされておりまして、さきの準備会等でそういう取扱いが申し送られたもので、第1回目の協議会におきましてそういう提起がまた再び確認された上で今日の運びとなった次第でございます。そういう意味ではほかの小委員会の議題のように具体的な議案、例えば地域審議会等の議案のように具体的な議案として提起されるものがある、それについてのよしあしを論議するというものではございませんで、まだいかなる方向で協議がされるのか、どこまですべきなのかと、いろんな方向性についてまだそれ自体もこの委員会の皆さんが話し合いをしながらされていくものと考えております。

先ほどの協議会の中で論点整理として挙げましたものを今お手元であれば見ていただきたいと思います。再度読み上げという形になってしまつてまことに恐縮ではございますが、そうした意味でということが議論の前提となるかということで論点が整理されたもので、幹事会等で確認されて今日皆様に提出させていただいたものです。もう一度読み上げさせていただきますが、新市の名称という部分についてでございますが、一つ目として市町村の名称を変更しようとするときは条例で定めるものとされており、合併する、しないにかかわらず、当該自治体の固有の権利であると。地方自治法に書かれた内容についての書き込みをさせていただきます。続きまして、合併に合わせて上越市の名称を変更する場合は、現在の上越市の議会における条例制定による。したがって、上越市が最終的な判断をすることとなるということで手続的なものをお書きした部分でございます。そうしたことを踏まえて、次の項目でございますが、そうしたことを念頭に置きながら、これらを踏まえ、合併協議会においては、上越市の名称を変更するかどうかを含め、議論するというので、前提条件はあるけれども、ゴールについては、小委員会の結論はどうかということについては事務局で何らか方向を示唆したり、規制したりするものでは当然ないことはよく承知してございますので、ここで皆様の自由なご議論、あるいは調査を含めていろんな審議をいただきながら、それらの方向についても協議を重ねながら見出していくものかと考えておりますので、同じ説明を何回もして恐縮でございますが、議論を進めてまいりたいと思っております。

それで、最後になりますが、まず本日の取扱いにつきましては、準備的な意味ということでご説明を申し上げた関係がございまして、また皆様に事前の検討の準備をいただく時間を設けさせていただけなかったという部分を含めましてお願いでございますが、私どもではまずきょうは準備的な意味という話の中で、次回に向けていろんな示唆をいただきたいという意味で初めてのお集まりでもいらっしやいますし、自由闊達なというふうな雰囲気もございまして、先ほど来のお話もございまして、順番に、できれば私どもが紹介する上越のいろんな資料、今回の協議スケジュールも含めましていろんな資料を説明していただいた後、ご自由に順番にはございませんが、それぞれご発言いただきながら、事務局に対していろんなこれ調査依頼とか、ご要望とか、ご意見いただきながら、次回の開催に向けてのいろんな示唆をいただければと。それをもって次回以降が十分充実した協議になるように準備をしたいと考えておりますので、そうした位置づけできょうご発言いただければというふうに考えております。冒頭の取扱いにつきましては、ここの2番である新市の名称についてと、審議の説明については、きょうはこの内容でとどめさせていただければということでございます。

委員長、よろしく願いいたします。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

-
- 3 審議 (1) 審議スケジュールについて
(2) 「上越」の名称について

○笹川一成委員長 今事務局総括の方からお話ございましたように、これから「上越」の名称ということについて事務局から説明をいただきます。その後皆さんからそれぞれ意見を出していただいて、それをこの次の委員会にまた持ち込んで協議をいただきたいと、こんなふうに考えております。

それじゃ、事務局の方で一応「上越」の名称についてということで説明をお願いいたします。

○小菅宏造事務局総括 それでは、ご説明させていただきます。

ここの資料を次第から2枚おめくりいただいて、スケジュールというのがございます。今委員長の方から上越の名称ということで用意した資料の説明ということでございますが、その前に今後一体何回開かれるのか、どうしたタイミングで協議があるのか、1回1回どのぐらいのボリュームなのかということがわからないと、それぞれの準備、あるいは皆様のご予定含めましてどこまでやったらいいのかという見通しがなかなかつきにくいと思いますので、今事務局で準備しておりますスケジュールについて簡単にご説明させていただいた上で、さらに最後の資料である「上越」の名称についてという資料を読ませてもらいたいと思いますので、資料の2枚おめくりいただいて小委員会審議スケジュール(案)、資料1というのをごらんくださいませ。

本日1月の15日でございますが、第5回協議会の欄でございますが、そこにAグループ、〇とございます。それが本日の意味でございます。ここでいろんなご意見、示唆をいただきながら準備に入りまして、次の協議は、先ほど協議会の最後にもご案内させていただいたとおり、このAグループという協議の考え方そのものを基本的に委員さん方、交通手段等の問題もございまして、ご予定もなかなか短い間でたくさんとりにくいという部分の中では法定協議会、この合併協議会と同日開催を原則としてまず動いていきたいというふうにAグループを位置づけております。そういう意味で次回は1月の29日、法定協議会第6回協議会が終了後にまたこれと同じような形で開催をさせていただきたいと思っております。その後、同じように第7回、8回、あるいは9回という形で協議会ごとに開催をさせていただいて、最大限今のところのスケジュールでは、できれば本日を含めまして5回程度のご審議を1回当たりこのような時間設定でさせていただければというふうに考えております。あわせて、Bグループということで、皆さん、この中で新しいBグループの方に所属されて、ほかの委員会の方に所属されている部分がありますが、それにつきましては来週23日についてまず1回目を開催して、それにつきましては審議内容に合わせて1週間に1回、あるいは2週間に1回というペースを協議させていただきながら準備させていただきたいという予定にしております。それでは、審議スケジュールはそのような予定になっております。

続きまして、用意させていただきました、めくっていただいて資料2について内容を説明させていただきます。まず、本日の議論の皮切りといたしまして上越市という名称が一つ議論の前提問題、あるいはとらえるということについてこれ検討の内容になってございますので、まず上越という名前の由来、起こりについてどういう形であろうかということ調べまして、そのものをこの方に出典を含めまして紹介させていただくと、これをもちまして議論のきっかけに、まずさせていただければということで用意させていただきました。

読ませさせていただきます。題名からでございますが、「上越」の名称について、昭和45年12月15日に発行された高田市・直江津市合併協議会だより第2号に「“上越”のおこり」と題して、上越のことは、上越という言葉でございますが、の起源が次のとおり紹介されています。中を読ませさせていただきます。

飛鳥時代の大化の改新によって国郡の制がしかれ、7世紀末になると北陸地方は、都に近い国から越前(現在の福井県) 越中(富山県) 越後(新潟県)と呼ばれるようになりました。国語辞典によると越、高き志と書いてこしともいう、でございますが、は北陸道のことです。

この越後も、戦国時代の初期から米山以南を上郡、信濃川流域を中郡、阿賀野川流域を下郡と区分され、それぞれ上越後、中越後、下越後とも呼ばれるようになりました。

さらに、いつの間にか上・中・下越後の「後」の字がとれ、現在の、これは読み方がまた変わりますが、上越、中越、下越の名前が生まれました。

この上・中・下越も、京都に近い順につけられたものです、という形で、当時の高田市、直江津市の合併協議会の協議会だよりの第2号に、上越という名前の起こりと題してこういうふうな形で紹介されていると。このことは、皆さん、事務局用意するまでもなくよく知っていらっしゃるという方も多いとございますが、これを出発点といたしまして、まず私どもとしてはこうしたことについて例えばこれについての感想でもようございますし、あるいはもっとこういうこと知っているよというふうなお話でも結構でございます。そうしたところから和やかにまずお話を始めさせていただいて、もちろんこれにかかわる、これ以外の当然に協議の進め方も含めまして、どんなことを調べたらどうかとか、あるいは進め方はどこまでやるか、どういうふうにして検討しようかとか、いろんな名称に関するご議論、皆さんのお持ちの部分、意見交換的な意味合いで結構でございますので、私どもそれに基づいて準備を進めたいと思いますので、きょうはそうした意見的な形で皆さんからのご示唆をいただければというふうに事務局では思っております。

説明は以上でございますので、委員長、よろしく願いいたします。

○笹川一成委員長 どうもありがとうございました。先ほどの審議スケジュールに続いて、今「上越」の名称についてということで事務局から説明をいただきました。

これからそれぞれ皆さんからご意見をいただきたいと思いますが、順にご意見をいただきたいと思います。そちらの上越市の早津委員さんの方からご意見いただけませんか。

○早津輝雄委員 新市の名称の、きょう協議会でありましたとおり、当該自治体の当事者でありますので、しばらくは聞き役に回りたいと、こう思っていますので、きょうはそれ以上の発言はございません。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、その次に松野委員さん、お願いします。

○松野恵委員 安塚の松野です。私ら安塚ではきのうも議会の全員協議会がございまして、一応この名称については編入合併でもあるし、上越市で同じ名称でいいじゃないかということで、正直言いましで統一しているところでございます。

以上でございます。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、その次、同じ安塚町の横尾委員さん、お願いします。

○横尾新一委員 安塚町の商工会の横尾でございます。今松野委員さんの方からのお話もあったんですが、私らも当初上越市に合併をお願いするにつきましては、編入とか、いろんなそういうことにこだわらず、今の上越市と今後のこうした時代と一緒に仲間にさせていただいて、そして最終的な問題としては合併後がいかに安定のした形をとれるかというのが一番の問題だろうと。新市の名前につきましては、いろんな由来とか、そうしたものもあるんでしょうけども、私個人的にも、また商工会の会員としましても、余りそういうことにこだわる問題ではないんだろうと、こう思っておりますので、余りきょうそうした方向をこういうこと考えながら、こうだ、ああだということではなく、率直に申し上げれば今までさんざん聞きなれてきた言葉、上越市が私は一番賛成をしたいと、こう思っております。

以上でございます。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、その次、浦川原の石田委員さん、お願いします。

○石田敏一委員 浦川原の石田でございます。当村では、まだ具体的な名称についてはご審議をしていないわけございまして、これからの委員会で皆さんとご意見等を聞きながら進めてまいりたいと、このように思っておりますので、よろしく願いいたします。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、同じく浦川原の内山委員さん、お願いします。

○内山美恵子委員 浦川原の内山です。石田さんが言われたように、私らの村ではそういうことをまだ

名称について話し合われておりません。それで、私個人としては今ここに由来が出ておりますので、これをかみしめておきながら、また今後につなげていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、その次、大島村の丸田委員さん、お願ひします。

○丸田伸一委員 大島村の丸田です。先般私らの村におきましても協議する事項に関する協議書ということ、この書類いただいたわけですが、私ども村においてもまだこの協議はしてございません。でありますけど、私は新市の名称、これについての内容読んだときに新市の名称を変更する、これは条例で定めると、これはそれでいいんですが、その2番目の問題なんですけども、合併に合わせ、上越市の名称を変更する場合は現在の上越市の議会における条例制定による。したがって、上越市が最終的な判断をする、このように明記されておるわけでございます。したがって、私が考えるときには既に協議を私はする必要がないんじゃないかと。私は率直に申し上げます、そう思うんです、率直に私の意見ですが、そこらでお聞きしたいことであるわけでありまして。ですから、上越の名称についての起こり、これは先ほど説明がございましたけれども、これはそれといたしまして、これを読んだ私の率直な意見は上越は上越市で、上越市の名前がいいんでないか、このように思っております。

以上です。

○山岸幸子委員 大島の山岸でございます。私らの村でもまだそういう名称のことをはっきりとは話し合ひはしておりませんが、私個人としては今までずっと上越でやってきましたので、上越市でいいと思っております。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、その次、牧村の宮本委員さん。

○宮本富男委員 宮本です。先ほど大島の丸田さんが言われたように丸の第2番目、上越市が最終的な判断をすることとなるということですから、私も議論する必要はないと。ここで例えば変更してもらいたいという人が多数いたとしても、それは我々の結論であって、名前を変える結論じゃないんです。あくまでも上越市の市議会が結論へ持っていくわけです。だから、私はその前にもしここで市名を変えてほしいという委員が多数が出たならば、何らかの方法でこの14市町村の住民を相手にしてアンケート調査を実施すると。その数も約2%ぐらいで5,000名ぐらい、2%ぐらいの人たちからアンケートをもらって、それによって決定し、それをできれば上越市議会が尊重してもらいたいというふうに希望いたします。私自体は、牧村としては変えるか、変えないかは半々ぐらいです。私個人としては、上越市というものは新潟の方の上越と間違われますから、それは上越市の名前はごめん。今度新幹線が来て、もし上越市という名前がついたら、何だね、おまえらのところ新潟の方の上越になったのかという誤解を招くおそれがありますから、上越市はだめということで、名前を春日山市でもいいし、くびきの市でもいいし、何らかの名前に変更してもらいたいということが私の意見であります。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、江口委員さん、お願ひします。

○江口理恵子委員 こんにちは、牧村の江口です。私個人の意見ですが、結婚前は上越市民だったので、そのころからどこに住んでいるのと言われると、上越というよりは高田ですというふうに答えていたものですから、やっぱり上越という名前はなんとなく先ほど宮本さんもおっしゃいましたが、新潟の方の上越沿線の方と混同されるような気がして、なんとなく使っていなかったようなことがありました。そんなこともありまして、できればやっぱりここで新しい市になるので、ひとつみんなで新しい名前を考えるのもいいことだと思っております。ただ、先ほどから話が出ているように最終決定は上越市議会ということなので、私たちにできることはその中で一体何かかなと思うと、やっぱりアンケートをとったりとか、そういうことに持っていくことかなと思っております。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、次に柿崎町の新澤さんですか、お願いします。

○新澤明一委員 柿崎の新澤でございます。今ほど来お話が出ている丸田さんの言われたように我々として、うちの町でもそういう話はしていないんですが、私個人としては 14 市町村が一緒になるんだから、変えた方がいいというのが。それと、私は今まで 35 年ぐらいですか、上越市へ勤めておりました。その間の中にも、上越市という名前に違和感を持っている方々がかなりいたように記憶しております。そんなところで私としても、ただ今ほど言われたように上越市にそれこそひもついているような状態なもんですから、これはこの中でよく協議をして、それに変わるなら変える、変えないんだったら変えないというような意見が多数になれば、それは私はそれで結構ですが、今の私の考えとしては変えていった方がいいんじゃないかという考えを持っています。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、柿崎町の神岡委員さん、お願いします。

○神岡八江子委員 柿崎町の神岡です。よろしくお願ひいたします。先ほどから皆さんの意見聞いておりました、私も同じような意見なんです、牧村の宮本さんが言われたように最終決定は上越市が持っておるんですが、私個人としても準備会からの皆さんの意見もあったんですが、ぜひ新しい市ができるんだから、新しい名前にしてほしいという、準備会でもそういう意見が多かったように記憶しておるんですが、柿崎町もまだ最終的なアンケート等は聞いておりませんが、周りの若い人たちの意見はぜひ変えてほしい。さっき牧村さんが言われたように、上越沿線と東京行っても間違えられるというのが多く聞いております。それで、私も上越に勤めを持っているんですが、上越市民の方でもやっぱり上越市というのを変えてほしいという意見がたまたま聞きますので、ぜひ上越市も含めて全市町村、14 市町村でアンケートをとって結果を聞かせてもらえればと、私個人の考えはそのとおりです。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、大潟町の内山委員さん、お願いします。

○内山米六委員 大潟町の内山です。よろしくお願ひします。先ほどお話があった新市の名称の協議書の内容なんですけども、2 点目のしたがつてからのくだりですけども、これは私ども法の中で生きている人間としては当然のことであって、これを改めて強調してここに書く必要はないんじゃないかというふうに思っています、もっと上越市としては度量の深さとか、心の広さとか、そういったものを求めたいというふうに思います。

それで、名称でありますけども、私は変えてほしいというふうに思っています。理由は二つほどあるんですが、一つは先ほどから言われているように上越線との混同といいますが、非常に紛らわしいと。私は議会で視察に出るわけですけども、上越と言っても、上越市の隣町の大潟町ですというお話ししてもちょっと通らないんです。むしろ直江津の隣ですと言った方が通りがいいんです。そういう面があります。これが一つと、もう一つはこれからは自主自立のまちづくりというか、自治体の競争の時代に入ってくるんだらうと思います。そういう面では、やっぱり外から見た名前が、通りのいい名前というのを考えてもらった方がいいんじゃないかというふうに思います。自分たちだけで満足しているじゃなくて、まちを売る、市を売るという考え方でこの名称というのを考えていただきたいと、こう思っています。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、大浜委員さん、お願いします。

○大浜啓子委員 大潟町の大浜でございます。よろしくお願ひします。私も勉強不足でありまして、本日いただきました上越の名称についての起こりをよく読ませていただきまして、本当に準備会のときは私は高田市と直江津市の合併した当時の上越市の名前ということはずっと引きずって、余りいい印象でないということを知っていたんですけれども、それが今回私は進んでこの名称の方の担当をさせていただいたんですけれども、準備会のときは私の意見としてはそういうわだかまりがずっとあったので、できれば単純に違う名称にしたらいんじゃないかと思っていたんですけれども、今回の起こ

りをよくかみしめてみますと、またいろいろ意見を聞いて深く考えていった方がいいんじゃないかと思います。個人的な意見は、まだ差し控えさせていただきたいと思います。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、頸城村の布施委員さん、お願いします。

○布施兵衛委員 頸城村の布施でございます。新市の名称については、重要な案件だというふうに認識をしております。きょうの小委員会、これ突然でございますし、具体的にはこれからの論議だというふうに思っております。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

それじゃ、大場委員さん、お願いします。

○大場崇夫委員 頸城村の大場でございます。頸城村としては、具体的に議員さんも含めて新市の名称については話し合いをしておりません。私個人としては、先ほど文章読まれましたように編入合併ですので、この文章に書かれたとおりだと思います。ただ、重要なのは自治基本条例とか、そういう難しいことよりも一般の住民の人が非常に参加しやすいんです。例えば新聞等を見ていまして、糸魚川あたりが物すごく新しい名前が寄せられる。しかし、結果的には糸魚川になるというようなことが新聞に出ているわけですが、結果的には上越市の市会議員の皆さんが決定されることなんですけども、そこへ持っていくまでに、結果的に上越市になること自身は私は個人的には賛成なんですけども、結果がどうなろうと、新しい合併する上越市の市民の方も含めて、やっぱり私はアンケートなり、そういう方法をとられた結果、それを十分踏まえられて上越市の市会議員の皆さんが決定されていくのが私は持っていく手順としては順当でないかと、そんな気をしております。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

吉村委員さん。

○吉村一博委員 吉川町の吉村です。私どもも新市の名称につきましては特別委員会でもいろいろ話がありますけれども、私どもも町村の代表として出席をしておりますので、そのまとめが出ていない限り発言は差し控えさせていただきたいと思っておりますし、またきょうは急なことであるので、余り深く踏み込まないというようなことでもありましたので、聞いておりますと、大分踏み込んだような話もありますが、その辺の判断を委員長はどのようにお考えなのかちょっと後でまたお考えをお聞きしたいと思います。余り踏み込んだ話はきょうはない方がいいのではないかという感じはいたしません。

以上でございます。

○笹川一成委員長 今の吉村さんの意見ですが、私、後でお話ししようと思ったんですが、今この委員会の日程としてはきょうも入れて5日間ございますので、きょうは皆さんの意見をお聞きするだけにしておこうと思っております。私も自分なりの考えを持っておりますけれども、まだきょうそれをお話ししちゃうと、何か委員長みずからこんなこと言っているみたいな話になっても困りますので、それはちょっと控えておりますけれども、一応きょうのところは皆さんのフリーな意見をお聞きするというにさせていただきたいと思っております。

済みません、じゃ、岩井委員さん、お願いします。

○岩井栄子委員 吉川町の岩井です。よろしくお願いいいたします。住民の代表ということになると、個人の意見が言えないのかなというふうなちょっと思いもしますけれども、私個人的には住民が一番合併に参加できるのはこの名称のことかなと思います。その観点からやっぱりアンケートなり、そういうものをもって、みんなで合併を考えていこうという機会を与える意味ではこの問題が一番やりやすいのかなという思いがありますので、上越市民も含めて決定権は議会にあるうとも、その過程を大事にしたいと思っておりますので、その辺をアンケートをとって、みんなどんなふうに考えているんだろうということをやったり一度聞いてみるというのが一番いい方法だと思います。それから、隣の新井市で

すか、今度妙高市になるということで、これに関しては新聞報道ではかなり議論を1年以上にもわたって名前を決めることに時間をかけてきたというのを聞いております。そういう例もありますし、どんなふうな話し合いになっていたのかというようなことも隣のことを参考にしながら、そういう参考資料なんかいただければいいかなというふうにも思います。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

それじゃ、中郷村の豊岡委員さん、お願いします。

○豊岡眞一委員 中郷です。私の委員会でも、この件につきましてはまだ一回も議論しておりません。したがって、今ほど岩井さんも申されたようにやはりアンケート調査が一番なんだろうと、このように思います。先ほどどなたかもおっしゃいましたけども、糸魚川地域においては全国の公募までされて真剣に取り組んでいるという新聞もちょっと見ましたので、やはり地域の住民の皆さん方の声を聞くのがまず第一先決かな、このように思います。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、中郷村の杉本委員さん、お願いします。

○杉本優子委員 中郷村の杉本です。私も個人的には、やはりこれは長い先ずっと使っていく大切な自分の顔のようなものなので、自分も含めて住民の人たちの意見が一番大切だと思いますので、その方法はアンケートになるのかどうなるのかというのはこれから皆さんで話し合っていけばいいんじゃないかと思うんですけども、住民の意見を尊重して話し合いを進めていきたいと思います。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

板倉町の島田委員さん、お願いします。

○島田武委員 板倉の島田でございます。よろしくお願いいいたします。実は、うちの方もまだ議会、それから町の推進委員会にいたしましても、この新市の名称についてはまだ検討してございません。きょうは、初めての内容の提案でございますので、これからいろいろ皆さんとご相談しながら次回、その次に向けてご検討したいと、そういうふうに思っております。なお、先ほどもちょっとおっしゃいましたけども、やっぱりアンケート結果というものも大事にした方がいいんじゃないかというふうに私の個人の意見でございます。

以上でございます。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

増村委員さん、お願いします。

○増村恵子委員 板倉町の増村です。私もここで議論することがすごく一番大切なことだと思いますし、みんなで後悔をしないような新市名を考えていきたいと思っております。よろしくお願いいいたします。

○笹川一成委員長 じゃ、清里村の保坂委員さん。

○保坂隆男委員 清里村の保坂でございます。よろしくお願いいいたします。私のところのものでも、まだ新市の名称につきましては特別話し合いを持っておりません。したがって、きょうどういう状態で話し合われるかということは、ここではお話ができない状態でございます。いずれにしましても、先ほどから大勢の方々からお話が出ておりますように新市の名称を決定するにつきましては、最終的には上越市議会で決めるわけですが、そこへ持っていく手続としてはやはり大勢の皆様の意見を聞くのが非常にいいことじゃないかと、こう思います。皆さんの意見を聞くことによって、この合併への一人一人の心組みができてくる。そして、新しい市への夢も膨らんでくる。そして、みんなでいいまちをつくっていかうという意欲を培うためにも、そういうこれを利用するということじゃないですが、これを生かしていくことが非常に大切ではないかと、こういうふうに考えております。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、細谷委員さん、お願いします。

○細谷愛子委員 清里の細谷です。よろしくお願いいたします。私も清里では今、保坂委員さんがおっしゃったとおりまだ話し合いも出ておりませんので、どうこう申し上げることもできませんが、今皆様がおっしゃったとおり、やはり住民の皆様のための合併であるためにアンケートを大勢の方からとって一番いい方法に持っていったらいいかなと思って、皆様のご意見に賛成だと思うんですが、これからまた新しい名称はやはりいつまでも使わなければなりませんので、本当に大切だと思うんです。ぜひよく考えて決めたらいいと思います。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

三和村の松縄委員さん、お願いします。

○松縄教一委員 三和村の松縄です。よろしくお願いいたします。実は、うちの村議会で昨日特別委員会がございまして、きょう提案されるということで、かなり審議をしてみました。全国に例を見ない14の自治体が寄るんだということで、ぜひひとつこの名前を、面積にして1,000平方キロに近いと、そういうことなので、人口云々ももちろんあるけれども、地域の面積というふうなことから十分小委員会で審議して、今どなたかも言われておりますように非常に難しいことだと思います。結果的にはアンケートみたいなものしか仕方ないのかなと思いますけれど、小委員会で十分ひとつ三和村議会の意思を伝えてこいというふうなことになりまして、新しい名称を望むということでございました。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、近藤委員さん、お願いします。

○近藤一郎委員 三和村の近藤と申します。議会できのう審議されたそうですが、その2日前の私ども三和村合併推進協議会までのところでは全くで審議はでておりません。どなたかもおっしゃいましたが、私は三和村代表の小委員だと思っていますので、未協議でございますので、コメントは差し控えさせていただきたいとあえて思います。ただ、私は小委員会がある中で積極的におれはこの小委員会、絶対入れてくれということを申し上げてこの小委員会のメンバーにさせていただきました。そのことは私のことでございますので、申し上げたいと思います。

それから、事務局をお願いをしておきたいと思います。過去の合併、今の合併を議論をしている中で、新市の名称についてどうなったのか、これを調べて次回までに出していただきたいというふうに思います。あきる野市だとか、南アルプス市だとか、平仮名、片仮名も結構出たりしております。こういう市、こういうまちが集まって何々市になりましたということだけではなくて、できるだけ議論の経過、議論の経過無理ならアンケートとったとか、アンケートの結果がこうで、こうなったとかというのを調べていただきたいと思うんです。こういうまち、こういう市が一緒になって、こういう市になりましたというのであれば、多分私の家のインターネットでも幾つか多分調べられるんですけど、その程度じゃなくて、ぜひひとつお願いしたいというふうに思います。特に県内でも隣の妙高市さんなんていうのはいろいろ議論あったんですが、新聞を見ましたら編入される方の町村の皆さんが新井市さんの寛大な対応に非常に感謝をしたいというような報道もありました。その辺のところまで含めて、できるだけ調べておいていただきたいというふうに思っております。それから、協議書にあります新市の名称にかかわるこのものについては、これはこのとおりだと思っております。これ以外にないんであれば、隣の新井市さんなり妙高市さんがどうしてなったのかと、素人ですので、その辺は知りたいというふうに思っております。

以上です。よろしくお願いいたします。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、名立町の塚田委員さん、お願いします。

○塚田正委員 皆さん、こんにちは。名立町の塚田でございます。よろしくお願いいたします。元来せつ

かちなせいか、こういう立場で、じゃ自分の立場を考えて発言すればいいんでしょうけれども、正直なところ議会特別委員会並びに住民を網羅したところの合併審議会では、新市の名称についてはまだ話し合っておりません。ただし、上越市さんの先ほどの歴史をひもといた中で 33 年たっているわけです。そういう歴史の重みというのも十分考えていかなければならないし、また百年の、といいまししょうか、大きな大計のもとに 14 市町村が一緒になる。そういうところで新しい名前を考える。名前は大切なものだということは十分理解をしております。しかしながら、当町としては 100%上越市に通勤、通学、経済活動、隣接をしてその中へ入っております。そんな中で個人的な見解ではありますが、皆様方それぞれ述べられた方の意見を尊重させていただきますが、上越線と混同されてというようなお話がありましたが、私はそれはそういう問題で市の名前をどうこうするという意見ではない、私はこのように思っております。それで、33 年の歴史の中できちっとそうではないんだ、こうだということを書いてきているわけだし、本当に我々はそういうものを今後とも考えていかなきゃならない。個人的な考えを差し控えさせていただきたいと、この辺までは個人的なお話があったのに、皆さん本当に優秀なお考えになっちゃったんで、私は上越市ということで個人的には決まりであります。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

じゃ、久保埜委員さん、お願いします。

○久保埜朝子委員 名立町の久保埜です。よろしく願いいたします。私も個人的には上越市でそのままでいいと思っているんですけども、上越市内の若い人たちの意見も取り入れていただいて、やっぱり皆さんが言っているとおりアンケートをしていただきたいとも思っております。

以上です。

○笹川一成委員長 ありがとうございます。

田中委員さん、何かコメントありましたら。

○田中昭平委員 新市の名前を決めるのは 5 回ありますから、きょう入れて。ひとつまだ時間がありますから、十分にそれぞれの地域の歴史を思い、そして皆さんの代表で出てきた考え、こういったようなものを十分反映して、慎重にして最後の結論を出すというようなことがやっぱり一番大事でないかと。それから、私の今現在のあれですけど、私は今、年は 77 歳であります。それで、33 年前に高田と直江津が対等合併をしました。私は当時の感想、合併とはこんなに大変なのかというふうなことで、議会が激論、激論で非常な大変な活気を見せて、そしてそのときに上越市という名称になってから今 33 年を経過したんですけど、上越市という名称は上越市民にとっては非常に定着しております。きのうも最寄町内会の役員会しまして、新しい市の名前と言え、みんないい考えあるかと聞きましたけど、何も話ありませんでした。それほど 14 の市町村が一緒になるという新しい方向づけとして、やはりみんなで頑張ろうなということで、その名称がそうやって採用されるものではないと、そんなようなことを思ったんですけど、私がここで生まれて、ここで死んでいく上越市民として、皆さんの 13 が編入合併するということですので、皆さんの考えや意見を十分反映しながら、最終的な結論をみんなの総意で決めて、そして市議会が円滑に審議されて決定されるというようなことを望んでおります。したがって、私は今、新市の名称についてどのような方向でいった方がいいとか、具体的にどうだというふうなことは今私としては差し控えたいと、こんなように思いますが、そんなような感想でございます。よろしく願いいたします。

○笹川一成委員長 どうもありがとうございます。

私もコメントすればいいわけですが、やはり委員長という立場からちょっと控えさせていただきます。きょう皆さんからいろんなご意見をいただきました。かなり踏み込んだ意見も確かにございましたが、これをまた事務局の方からまとめていただきまして、この次の委員会までにまたそれぞれの皆さんの立場もおありでしょうし、またそれぞれ意見をまとめていただいて、きょうの意見も参考にさせていただく中で、また改めてご意見をいただき、協議させていただきたいと、こう思います。この委員会には、新市の名称ということで委員会に付託されたわけですので、ある程度この委員会としてまとめた意見をこうでございますというのには上げなければいけませんので、その辺もお互いに

譲るところは譲り、主張するところは主張していきたいと思っております。



4 その他

○笹川一成委員長 そんなことできょうのところはこれでこの委員会を閉じさせていただきますが、最後に皆さん、何か一言という方おありでしたらご意見お聞かせいただきたいと思っております。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○笹川一成委員長 それから、事務局の方で皆さんの発言されたことにちょっと確認をしたいということでございますので、お願いします。

○小菅宏造事務局総括 それでは、大変皆様から貴重なご意見をいただきまして、まことにありがとうございます。私どもにいただいた宿題の確認と、それから先ほどの発言の中で事務局にというお話ございまして、浦川原村の石田さんだっただございませうか、発言の中で新市の名称については協議の必要なしというふうなお話が出たのはございましたですね。失礼しました、石田さんからいただいたんでございませうか。

○石田敏一委員 私は、まだ浦川原村では正式に決めていないから、今後委員会の中で議論させていただきたいと、そういうふうに述べたつもりですけど。

○小菅宏造事務局総括 申しわけございません、大島村の丸田さんでいらっしゃいましたか。ごめんなさい、大変失礼いたしました。

それで、協議の必要なしというお言葉の意味合いの確認なんですが、実は皆さんご承知の上でのご発言と思いますが、そもそも準備会の中での議論の中で、これは合併協定項目ではないけれども、他のこういう項目と並行して協議はすべしと、協議をしましょうという約束のもとに申し送られて、そのために今回の協議会の中で小委員会を設置して議論するという前提で協議が始まっております。そういう意味では、ここの小委員会の中でこれ以上議論の必要がないというふうなご結論が皆さんの中で出てまとまったものであれば、そこで打ち切りで結構でございますが、そうしたものとして取扱って報告をいただくこととなりますが、今そういう意味ではお諮りの上でのご発言というふうにとらえさせていただきたいと思っておりますが、よろしゅうございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 ありがとうございます。

それから、宿題をいただきました部分でございます。三和村、近藤委員さんの方からご発言いただきまして、実際新市の名称の部分につきまして具体的な合併の実例等を調査をして、その中で議論の経過をよく踏まえた調査を行って、そこを資料として準備するようにと。それを参考にしながら、そうした検討をされていきたいということで受けとめました。特にまた新井の名前の妙高に至った経過ということも踏まえての資料ということで確認をいただきました。同じ趣旨のご発言として吉川町の岩井さんからもいただいたかと思っております。宿題としていただいたのは、はっきりご指摘いただいたのはその部分かと承知しておりますが、よろしゅうございませうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 ほかに次回に向けてということで、あるいは先に向けてでも結構でございますが、こういうことを調べるといふふうなご指示ございましたらお願いしたいと思うんですが、よろしいですか。

○内山米六委員 じゃ、今事務局から、皆さんの中からアンケートという要望が随分あったと思うんですが、スケジュール的に言いつつ、実施してまとめるにはこのスケジュールに間に合わせるスケジュール、アンケートをとる時期、そのタイミングというか、タイムリミットというか、そこら辺はしっかり次回のときにわかるようにしていただきたいと思っております。

○笹川一成委員長 よろしいですか。

○小菅宏造事務局総括 ご指示いただきまして、今回のご発言の中で事務局はそのことについての評価

はもちろんできませんので、する、しないということも含めましてですが、宿題としてそうしたことをした場合の法的な効果も含めまして、あるいはやることの是非云々とかも含めまして、どうして検討したらいいのか。それから、もう一つはスケジュール的な今ご指示いただいた部分というのは、今の協議の中においてそうしたことをすることについてのスケジュールリングがどうなるのか、可能なかということも含めてよく調べて、検討して、次回の委員会にお示しするというふうなことでございましょうか。ありがとうございます。

○早津輝雄委員 聞き役に回ると申し上げていろいろ聞かせていただきましたが、それはそれとして内山さんの方の今アンケートをとるとしたらスケジュール的にどうなのか次回までに検討してくるよという、それはそれで必ずしも間違いではありませんが、アンケートをとって多くの住民の声を聞くのが望ましいのではないかという意見がかなりあったことは事実ですが、とりわけ議会関係の皆さんは、そうはいいながら個人的な意見を言われた方もあります。それはそれで否定してはいけませんが、とりわけ議会関係者の皆さんはやっぱり個人的な意見、アンケートをとるべきか、どうすべきかということもやっぱり持ち帰って検討しなきゃならんという立場の方もおいでだと思いますので、スケジュール的に事務局としては可能かどうかという宿題は結構だと思いますが、にわかにアンケートをどうするか、こうするかというのは、もうちょっといろいろ議論を交わしてからの方がいいのではないかと、こう思っております。

○内山米六委員 おっしゃるとおりだと思います。私は仮にアンケートをとる場合に、恐らくないと思うんです、期間的に。3月末までにアンケートをとって、それ集計して結果を出す、そういう段取りにはならんんじゃないかという思いもあってお聞きしているわけで、もし仮にやった場合はどういうスケジュール考えられますかということですので、ご理解いただきたいと思います。

○笹川一成委員長 ほかにご意見ございませんか、なければこれで閉じさせていただきますが。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小菅宏造事務局総括 ありがとうございます。それでは、本日の小委員会についてはこれで終了ということでございますが、先ほどのご案内でもございましたが、次回の今度はBグループの委員会というものがございまして、それが23日に予定されております。この中で該当されていない方もいらっしゃると思いますが、来週1月23日午後2時からの予定ということで、正式なご案内はまた改めてさせていただきますこととなります。会場につきましても大潟町さんを予定しておりますので、その会場の具体的な名前とか場所わかり次第また含めてご案内を差し上げたいと思いますので、該当される方につきましては担当町村役場の職員が交通手段を含めてまたご相談ということかと思っておりますので、よろしくご案内出ましたら、よろしくご協力お願いしたいと思います。

以上でございます。本日はありがとうございました。

○笹川一成委員長 それじゃ、これで新市の名称の方の委員会を閉じさせていただきます。どうもご苦労さまでございました。ありがとうございました。

午後5時10分 閉会

上越地域合併協議会小委員会規程第 10 条において準用する、上越地域合併協議会の会議の運営に関する規程第 3 条第 2 項の規定により署名する。

委員長 えちご上越農業協同組合代表理事副組合長

上越市議会総務常任委員長

安塚町議会副議長